

### 「ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」を開催

～中学生・高校生が対象 資源リサイクルの先端技術など大学の研究成果を体験できるイベント～

開催日と場所：7月30日(日) / 千里山キャンパス、8月4日(金) / 高槻キャンパス

関西大学では、独立行政法人日本学術振興会が実施する、中学生・高校生を対象にした大学の研究成果の一端を体験できるイベント「ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」を7月30日(日)(千里山キャンパス)と8月4日(金)(高槻キャンパス)に開催します(参加費無料 要事前申込)。

7月30日(日)は、「環境にやさしい資源リサイクルの最前線」をテーマに、資源リサイクル技術を専門としている工学部化学工学科資源循環工学研究室の芝田隼次教授によるプログラムが行われます。資源(物)に限りがあることや物の「生産」「消費」「廃棄」による環境への影響など、講演やフリートーク、研究室の見学・実験を通じて考えます。

8月4日(金)は、「立体感によって視覚の仕組みを知ろう」をテーマに、視覚情報学を専門とする総合情報学部の林武文教授によるプログラムが行われます。人間の「錯視現象」のメカニズムをペーパークラフトやコンピュータグラフィックスによる3次元錯視立体を作り、心理実験などしながら体験することができます。

参加申込については、関西大学のウェブサイトから応募用紙をダウンロードし、各プログラムの応募先まで郵送またはFAXにて行っていただくことになります。また、応募の締切と定員は、7月30日(日)が7月14日(金)必着で約30名、8月4日(金)が7月21日(金)必着で約45名となっています(応募多数の場合は、会場等の都合により参加いただけないことがあります)。

つきましては、当日は取材可能ですので、ご希望などございましたら下記までお問い合わせください。

なお、このイベントは、平成17年度から独立行政法人日本学術振興会の新しい事業として開始されたものです。大学が育てている学術と日常生活との関わりや学術の意味について理解を深めてもらうために、「科学研究費補助金(KAKENHI)」による研究成果をわかりやすく発信し、将来を担う生徒の知的好奇心を刺激し、豊かさと知的創造性を育むことを目指しています。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>

「ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」の概要

---

「環境にやさしい資源リサイクルの最前線」

講 師	芝田 隼次教授（工学部）など
開 催 日	7月30日（日）
開催場所	関西大学千里山キャンパス 工学部内教室及び研究室 住所：大阪府吹田市山手町3 - 3 - 35
主な募集対象	中学生・高校生 約30名
内 容	資源（物）には限りがあることについて。廃棄物から有価物を回収・再利用するリサイクルを進めることを考えていきたいと思います。プログラムでは、芝田研究室で行われている資源リサイクルの先端技術についての講演を聞き、グループに分かれての研究室見学と実験室での実習を行います。資源リサイクルを通じて見た地球環境について考えていただきたいと思います。
スケジュール	12：00～ 受付、開場、昼食（大学で用意します） 13：00～ 挨拶、オリエンテーション 13：10～ 講演「アルミ缶のリサイクルと資源再生利用」（芝田隼次教授） 質疑応答、休憩含む 13：40～ 講演「地球環境を守るためのリサイクル技術 食品廃棄物が生み出す新商品」（山本秀樹教授） 質疑応答、休憩含む 14：10～ クッキータイム（フリートーキング） 14：30～ 研究室見学、研究紹介、実験、ディスカッション等 （若手教員、大学院生が付添） 16：30～ 修了証授与 16：45～ アンケート（終了後、自由解散）
参加費	無 料
要持参物	ノート（メモ帳） 筆記用具
申込締切日	7月14日（金）必着
問合せ・申込先	関西大学工学部 担当：伊与木茂樹 住所：〒564-8680 大阪府吹田市山手町3 - 3 - 35 TEL：06 - 6368 - 1121 FAX：06 - 6388 - 8869 E-mail: <a href="mailto:iyoki@ipcku.kansai-u.ac.jp">iyoki@ipcku.kansai-u.ac.jp</a>

「立体感によって視覚の仕組みを知ろう」

講 師	林 武文教授(総合情報学部)など
開 催 日	8月4日(金)
開催場所	関西大学高槻キャンパス C棟(教室棟) 住所:大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1
主な募集対象	中学生・高校生 約45名
内 容	目から入った視覚情報が脳に伝達される過程で歪められてしまう錯視現象について、トリックアートで古くから利用されている3次元錯視をペーパークラフトやコンピュータグラフィックスで作成し、実際に心理実験で錯視の効果を調べたりして楽しみながら学んでいただきたいと思います。3次元錯視を体験しながら、人間の視覚情報処理の仕組みについて一緒に考えてみましょう。
スケジュール	12:30~ 受付開始、開場 13:00~ 挨拶、オリエンテーション 13:30~ 講演「視覚のメカニズムと錯視現象」(ノーマン・D.クック教授) 質疑応答、休憩を含む 14:45~ クッキータイム、フリートーク 15:15~ 錯視立体の製作、心理実験、結果の説明等 16:45~ 修了式、「未来博士号」授与式
参加費	無 料
要持参物	ノート(メモ帳)、筆記用具
申込締切日	<u>7月21日(金)必着</u>
問合せ・申込先	関西大学総合情報学部 担当:林 武文 <u>住所:〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1</u> <u>TEL:072-690-2414 FAX:072-690-2414</u> <u>E-mail:hayashi@res.kutc.kansai-u.ac.jp</u>

なお、11月25日(土)には「話し合いと協力で世界が結ばれる~異なる文化を理解しよう」(久保田賢一総合情報学部教授など)を高槻キャンパスにて開催します。